

京都市の学校統合の一覧

平成31年4月現在

小・中学校 76校⇒20校

※学校名の横の数字は、統合時の児童生徒数及び学級数(○数字・育成学級は含まない)を表しています。

■小学校

(1) 開智小 147⑧	開智小 131⑥	洛央小 518⑩ 平成4年4月開校
(2) 永松小 71⑥	昭和58年4月統合	
(3) 豊園小 91⑥		
(4) 有隣小 114⑥		
(5) 修徳小 89⑥		
(6) 格致小 103⑥		

[1]

(7) 教業小 84⑥	洛中小 226⑧
(8) 乾小 157⑥	平成4年4月開校

[2]

(9) 立誠小 51⑤	高倉東小 294⑪	高倉小 420⑬ 平成7年4月開校
(10) 生祥小 169⑥	平成5年4月統合	
(11) 日彰小 93⑥		
(12) 明倫小 102⑥	高倉西小 176⑥	
(13) 本能小 84⑥	平成5年4月統合	

[3]

(14) 富有小 175⑥	竹間富有小 308⑫	御所南小 662⑯ 平成7年4月開校
(15) 竹間小 145⑥	平成5年4月統合	
(16) 梅屋小 177⑥		
(17) 龍池小 110⑥		
(18) 春日小* 84⑥		

[4]

*平成30年4月、春日小跡地に「御所東小学校」が開校

(19) 安寧小 73⑥	梅小路小 358⑫
(20) 大内小 302⑪	平成8年4月開校

[5]

(21) 桃菌小 150⑥	桃菌西陣小 267⑪	西陣中央小 439⑫ 平成9年4月開校
(22) 西陣小 120⑥	平成7年4月統合	
(23) 成逸小 115⑥		
(24) 聚楽小 71⑥		

[6]

(25) 小川小 201⑦	小川中立小 370⑬	新町小 401⑬ 平成9年4月開校
(26) 中立小 167⑥	平成7年4月統合	
	元滋野学区	

[7]

(27) 出水小 345⑫	二条城北小 469⑬
(28) 待賢小 171⑧	平成9年4月開校

[8]

(29) 菊浜小 69⑥	六条院小 157⑥	下京涉成小 273⑫ 平成22年4月開校
(30) 稚松小 99⑥	平成4年4月開校	
(31) 植柳小 84⑥		
(32) 崇仁小 49⑥		

[9]

(33) 錦林小 453⑮	錦林小 479⑰
(34) 新洞小 43⑥	平成25年4月統合

[10]

(69) 醒泉小 217⑨	下京雅小 311⑫
(70) 淳風小 114⑥	平成29年4月開校

[18]

(71) 紫野小 283⑪	紫野小 320⑫
(72) 楽小 33⑤	平成31年4月開校

[19]

■中学校

(35) 城巽中 126⑤	京都城巽中 129⑤	平成14年4月(校名変更)
(36) 柳池中 199⑥	柳池中 393⑪	京都柳池中 289⑨
(37) 銅駝中 219⑥	昭和54年4月統合	
(38) 初音中 101③	柳池中 366⑫	
(39) 滋野中 129⑤	平成5年4月統合	
(40) 上京中 394⑪	上京中 415⑫	平成14年4月統合

[11]

[12]

(41) 郁文中 152⑥	下京中 534⑰ 平成19年4月開校
(42) 成徳中 84③	
(43) 尚徳中 66③	
(44) 皆山中 63③	
(45) 梅逕中 131⑥	

[13]

■小中一貫教育校

(46) 別所小 3②	花背小中学校 31⑧ 平成19年4月開校
(47) 八辨小 17④	
(48) 堰源小(休校)	
(49) 花背第一中 7③	
(50) 花背第二中 8③	
(51) 堰源中(休校)	

[14]

(61) 陶化小 119⑥	凌風小中学校 773⑳ 平成24年4月開校
(62) 東和小 270⑫	
(63) 山王小 105⑥	
(64) 陶化中 268⑨	

[16]

(65) 一橋小 149⑥	東山泉小中学校 693㉓ 平成26年4月開校
(66) 月輪小 143⑥	
(67) 今熊野小 186⑦	
(68) 月輪中 234⑦	

[17]

(52) 粟田小 136⑥	白川小 163⑥	開晴小中学校 864㉔ 平成23年4月開校
(53) 有濟小 37⑥	平成16年4月開校	
(54) 新道小 72⑥		
(55) 六原小 83⑥		
(56) 清水小 106⑥		
(57) 修道小 131⑥	東山小 178⑥	
(58) 貞教小 48⑤	平成14年4月開校	
(59) 洛東中 159⑥		
(60) 弥栄中 73⑥		

[15]

(73) 二の丸北小 72⑥	向島の丸小 233⑩	向島秀蓮小中学校 914㉕ 平成31年4月統合
(74) 向島の丸小 185⑧	平成29年4月統合	
(75) 向島南小 388⑬		
(76) 向島中 314⑪		

[20]

※参考一幼稚園

豊園幼	開智幼稚園
開智幼	平成4年4月統合

桃菌幼	みつば幼稚園 平成7年4月開園
小川幼	
中立幼	

竹間幼	生祥・城巽幼 平成8年4月統合	中京もえぎ幼稚園 平成12年4月開園
柳池幼		
明倫幼		
生祥幼		
日彰幼		
城巽幼		

「京都市高校進学・修学支援金」の支給実績(各学校別世帯区分別)

			支給単価(円)	件数(件)	金額(円)	
入学支度金	生活保護受給世帯	私立	全日制	110,000	298	32,750,000
			定時制	69,000	0	0
	市民税非課税世帯	国公立	全日・定時・高専	63,000	618	38,934,000
		私立	全日制	178,000	780	138,840,000
			定時制	137,000	0	0
				通信制	45,000	39
小計				1,735	212,279,000	
学用品購入等助成金	特別支援学校等(全額支給)		144,000	171	24,232,400	
	国公立全日・定時・高専 第1子(差額支給)		84,500	812	55,394,700	
	国公立全日・定時・高専 第2子～(差額支給)		14,300	450	6,435,000	
	国公立・通信制(差額支給)		107,500	13	1,397,500	
	私立・全日制・第1子(差額支給)		76,800	821	49,260,000	
	私立・全日制・第2子～(差額支給)		6,000	543	3,258,000	
	私立・通信制(差額支給)		105,900	122	12,919,800	
小計				2,932	152,897,400	
総計				4,667	365,176,400	

※未収入の戻入がある場合の金額については、単価×件数と一致しない

※入学支度金には平成30年度前倒し支給対象者を含む

(参考 京都市高校進学・修学支援金支給事業の概要)

世帯区分	学校課程		学用品購入等助成金	入学支度金
生活保護受給世帯(私立高校生)	私立	全日制	—	110,000
		定時制		69,000
市民税非課税世帯(母子・父子・児童・障害者・長期療養者世帯)	国公立	全日・定時・高専	144,000	63,000
	私立	全日制		178,000
		定時制		137,000
	通信制			45,000
上記以外の非課税世帯	上記課程に同じ		上記金額に同じ	上記金額に同じ

※学用品購入等助成金について、「京都府奨学のための給付金」との併給調整を行い、上記の金額と「京都府奨学のための給付金」として支給される金額との差額を支給する。

※平成26年3月以前に入学した者については、「京都府奨学のための給付金」の対象とならないため、「学用品購入等助成金」を満額支給する。

※網掛け部分については、京都府が従来から実施している奨学金制度である「高校生給付型奨学金」の範囲で京都府から補助金を受けている。(生活保護受給世帯及び母子世帯等の一部世帯について、入学支度金は全額、学用品購入等助成金は年額6万円。ただし、平成26年度からは「京都府奨学のための給付金」との併給調整あり。)

※平成30年度の入学支度金から2月申請者の一部について、前倒し支給(従来4月上旬の支給を3月末日に支給。)を実施。

2017年度実績 子ども若者はぐくみ局資料

市立学校教職員の勤務実態調査の結果について（平成 29 年度分）
 （80 時間超の人数，一人平均超勤時間，最長時間，80 時間超の超勤のある学校数，
 健康管理医の面接人数）

（1）目的

教職員の勤務状況の把握を進め，その長時間勤務の縮減と円滑な学校運営を推進する。
 また，教職員も自らの勤務状況の把握を行い，効率的な業務の遂行や健康の保持・増進を図る。

（2）実施方法

表計算パソコンソフトを利用し，平成 23 年 12 月から全市立学校・園で導入した。

教職員は，勤務時間外の勤務状況を，自己申告により，時間数と主な勤務内容（「学級担任・教科担任に関する業務」，「部活動指導」など 11 項目から選択）を入力し，毎月，入力結果を管理職に報告する。なお，平成 29 年度からは出退勤時刻も入力するよう様式を変更している。

1 月あたり時間外勤務が 80 時間を超えた教職員がいる学校は教育委員会へ報告を行う。

（3）平成 29 年度教職員勤務状況調査（29 年 4 月～30 年 3 月）の概要（管理職除く。）

ア 80 時間超の人数，一人平均超勤時間

80 時間を超える結果報告として，全校種で延べ 3,782 名，1 月あたり平均 315.2 名（対象教員数の 4.9%）が，教育委員会に報告された。校種ごとの概況は下表のとおり。

また，土・日曜日など休日における勤務内容のほぼ全てが部活動指導であり，部活動指導（土・日曜日等の主な入力内容）と授業準備や校務分掌などその他の項目（平日の入力内容）を区別して内訳を示した。

	月平均 報告者数，割合 (対象教員数)	1 人あたり 平均時間	主に平日 (授業準備・ 校務分掌等)		主に土・日曜日 (部活動指導)
幼稚園	0 名，0% (53 名)	—	—	—	—
小学校	61.3 名，1.9% (3,259 名)	97 時間 12 分 (100.0%)	94 時間 21 分 (97.1%)	2 時間 50 分 (2.9%)	
中学校	212.3 名，11.0% (1,935 名)	106 時間 02 分 (100.0%)	69 時間 05 分 (65.2%)	36 時間 58 分 (34.9%)	
高等学校	41.5 名，7.5% (550 名)	104 時間 04 分 (100.0%)	58 時間 41 分 (56.4%)	45 時間 23 分 (43.6%)	
総合支援学校	0.1 名，0.0% (616 名)	84 時間 40 分 (100.0%)	84 時間 40 分 (100.0%)	00 時間 00 分 (0.0%)	
合計	315.2 名，4.9% (6,413 名)	103 時間 58 分 (100.0%)	72 時間 18 分 (69.5%)	31 時間 40 分 (30.5%)	

イ．平成 28 年・29 年度調査結果比較

平成 28・29 年度を比較すると，80 時間を超える報告者数は全校種延べ人数で 3.5 倍増（1,077 名→3,782 名），1 月あたり平均人数 225.4 名増（89.8 名→315.2 名）となっている。

（次頁あり）

また、1人あたりの平均時間数は横ばい（103時間03分→103時間58分）で推移している。
なお、26年度と29年度を比較すると、80時間を超える報告者数は、736名→3,782名、1月あたり平均人数は、61.3名→315.2名となっている。

上記の要因は、記入方法の変更により、始業時刻前の時間外勤務の把握がしやすくなったことと、校長会や学校訪問等の様々な機会を捉えて、時間外勤務状況チェックシートへの正確な記載・提出徹底を呼びかけた結果、より一層の教員の勤務実態把握が進んだものと考えている。

ウ 1カ月当たり最長時間

223時間00分（中学校教諭）

エ 80時間を超える時間外勤務のある学校数

80時間を超える報告を行った学校数（実数）は121校。

オ 健康管理医の面接人数

平成29年6・7月に連続して時間外勤務が80時間を超えた教職員に対し、健康管理医による面談指導を実施するよう、同年7月に管理職へ通知した。該当者は48校184名。

状況を確認したところ、22校91名が面接を終了しており、残り26校93名については、時間外勤務が減少したなどして、本人から面談不要の申し入れがあった。

教員の疾病別休職者の状況について(毎年度末)

	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末	29年度末
結核	0	1	0	0	0	0	0	0
新生物	8	6	7	13	11	10	10	10
内分泌系	1	0	0	0	0	0	1	0
血液系	0	0	0	0	0	0	1	1
循環器系	6	3	4	1	2	1	1	3
消化器系	2	1	1	2	0	3	1	0
呼吸器系	0	1	0	1	1	0	1	0
生殖泌尿器系	2	2	1	1	0	0	0	0
皮膚及び皮下組織系	1	0	0	0	0	0	0	1
筋骨系	4	2	3	2	6	4	2	4
神経系(精神以外)	7	3	6	1	3	1	4	3
神経系(精神系)	53	66	44	57	52	48	58	64
感覚器系	0	0	0	0	0	0	0	0
妊娠に起因する疾患	1	1	0	0	1	0	1	4
外科系	3	1	6	4	5	3	3	1
耳及び乳様突起の疾患								1
その他	2	1	0	1	1	0	1	1
合計	90	88	72	83	82	72	84	93

内科系の疾患

神経・感覚器系

妊娠に起因する疾患

外科系

耳及び乳様突起の疾患

その他

合計

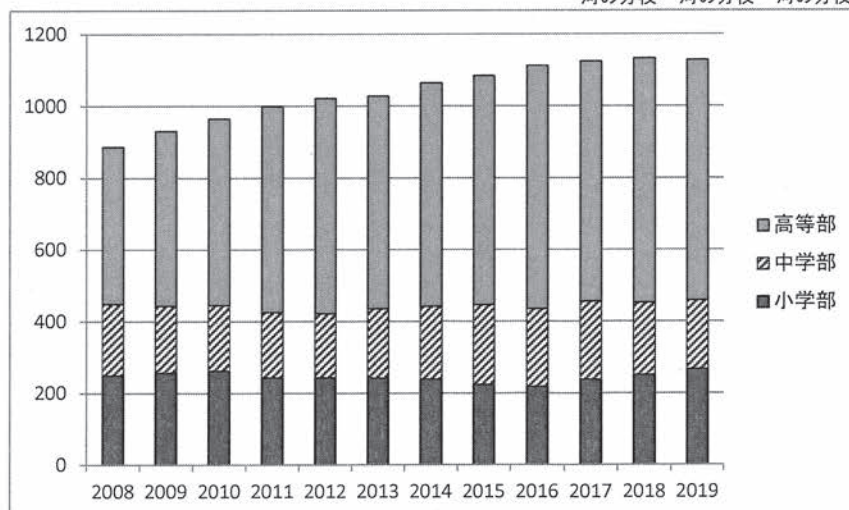
市立学校の常勤講師・非常勤講師等の勤務条件等について（平成30年5月現在）

勤務形態	常勤講師		非常勤講師			非常勤嘱託員	
	1日7時間45分 週38時間45分	授業時間数での 契約(単位:コマ)	勤務時間数での 契約(単位:時間)	週27時間	週20～10時間	月72時間を上限	
給与(報酬)	京都市立小中学校 (22歳モデル) 237,005円	週1時間当たり 月額10,100円	週1時間当たり 月額7,150円	定額 184,450円	1時間あたり 1,000円	1時間あたり A:1,200円 B:1,000円	
人数	1092人	324人	199人	239人	330人	83人	
期末勤勉 手当	(22歳モデル) 830,847円	なし					
通勤費	正規職員に準じる	正規職員に準じるが、勤務日数により調整					1日880円上限 (月18,440円上限)
配置目的	少人数学級, 休職者補充 など	専科教育 など	育児短時間勤務, 「小学校2年生少 人数教育」に基づ くTT補充(小2) 等	「小学校1年生少 人数教育」に基づ くTT補充(小1) 等	総合育成支援員	理科観察実験 アシスタント	
任用期間	通年	夏期休業期間を 除く	通年(ただし,TT 補充(小2)は夏季 休業前まで)	小・中:長期休業 期間を除く 幼:通年	通年	平成30年5月22日～ 平成31年2月28日	

総合支援学校の児童生徒数推移

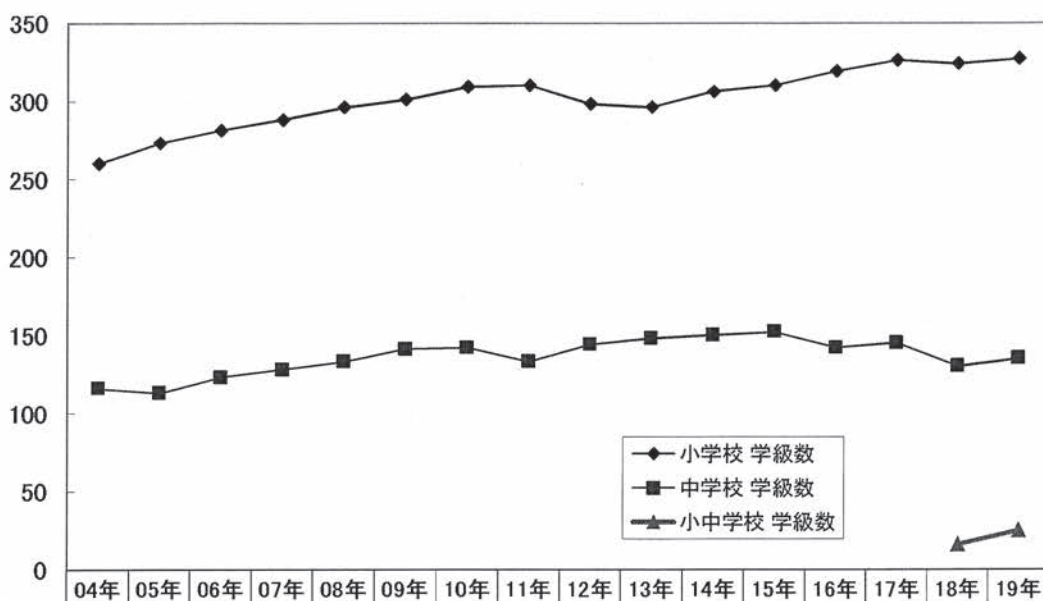
	年度	2008	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
北	小学部	69	73	67	67	62	57	52	56	59	71	73
	中学部	50	46	44	47	52	52	62	60	65	55	46
	高等部	89	99	114	105	103	93	91	104	112	123	113
	小計	208	218	225	219	217	202	205	220	236	249	232
白河	高等部	94	111	129	134	123	112	102	105	100	104	98
東山	高等部					34	77	111	110	103	104	107
東	小学部	39	48	45	42	38	33	33	32	31	32	37
	中学部	39	35	38	33	38	32	35	31	28	27	28
	高等部	60	78	85	96	85	83	68	79	82	87	81
	小計	138	161	168	171	161	148	136	142	141	146	146
鳴滝	小学部	2	1	1	1	2	4	4	1	2	1	1
	中学部	4	5	3	2	2	3	1	3	1	1	0
	高等部	50	62	68	70	75	74	75	70	67	66	71
	小計	56	68	72	73	79	81	80	74	70	68	72
西	小学部	64	62	63	55	60	60	60	64	71	79	79
	中学部	38	49	46	50	47	55	52	52	55	53	52
	高等部	65	87	88	103	91	94	98	99	103	100	105
	小計	167	198	197	208	198	209	210	215	229	232	236
呉竹	小学部	43	51	50	50	55	55	52	48	53	51	47
	中学部	30	28	27	26	34	36	46	46	46	44	45
	高等部	81	83	90	93	82	90	93	111	101	97	95
	小計	154	162	167	169	171	181	191	205	200	192	187
桃陽	小学部	33	27	18	29	25	30	23	17	22	17	30
	中学部	37	20	23	19	20	24	26	24	23	21	20
	小計	70	47	41	48	45	54	49	41	45	38	50
合計		887	965	999	1022	994	987	973	1112	1124	1133	1128

東山は白河の分校
東山は白河の分校
東山は白河の分校



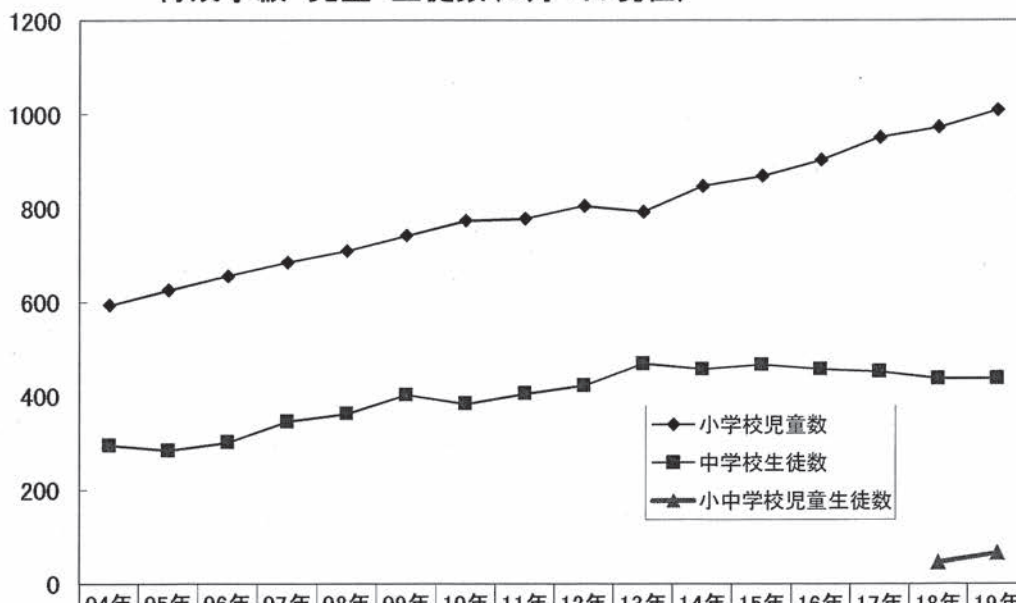
各年「教育調査統計」より
2019年は速報値

育成学級 学級数の推移(5月1日現在)



	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
◆ 小学校 学級数	260	273	281	288	296	301	309	310	298	296	306	310	319	326	324	327
■ 中学校 学級数	116	113	123	128	133	141	142	133	144	148	150	152	142	145	130	135
▲ 小中学校 学級数															16	25

育成学級 児童・生徒数(5月1日現在)



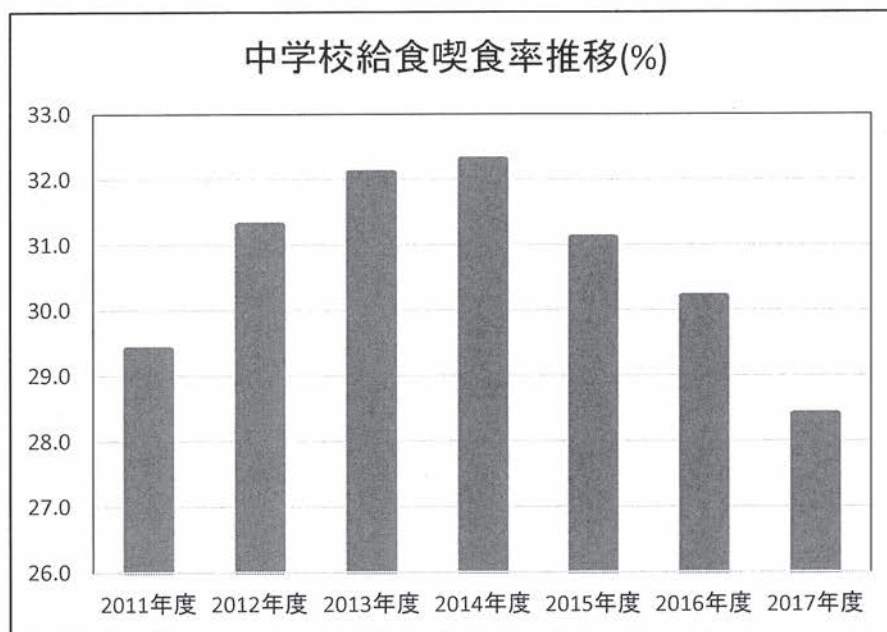
	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
◆ 小学校児童数	593	625	655	684	709	741	773	777	804	792	847	868	902	951	972	1009
■ 中学校生徒数	295	284	301	345	362	402	383	405	422	469	457	467	457	452	437	437
▲ 小中学校児童生徒数															46	66

各年「教育調査統計」より

中学校給食喫食率

(単位:%)

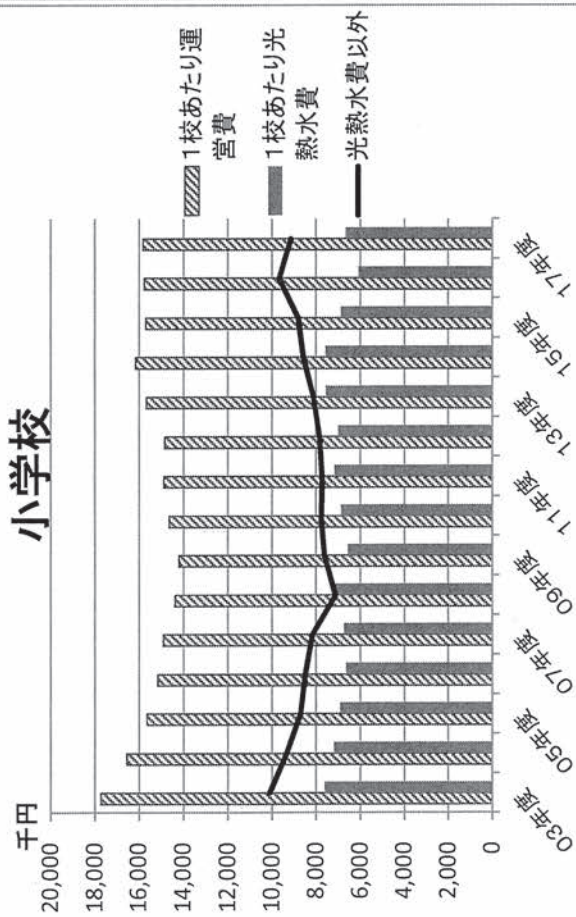
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
北	28.7	29.6	32.2	31.4	31.2	29.5	27.6
上京	34.0	34.5	38.3	39.1	36.8	35.6	33.5
中京	29.5	31.2	31.3	29.9	27.2	28.7	27.6
下京	29.3	28.6	28.2	25.5	23.1	21.6	21.7
南	26.7	27.4	27.4	28.8	29.4	29.3	28.6
左京	23.5	24.5	25.2	26.0	27.4	27.7	26.0
東山	32.3	39.6	49.2	54.7	54.2	50.8	39.6
山科	25.9	26.1	27.5	27.7	27.3	27.9	26.7
右京	27.0	30.8	29.9	30.0	29.3	29.1	29.1
西京	31.8	32.9	32.8	32.8	31.3	29.2	27.1
伏見	33.7	36.8	38.3	39.3	36.4	34.1	30.8
全市	29.4	31.3	32.1	32.3	31.1	30.2	28.4



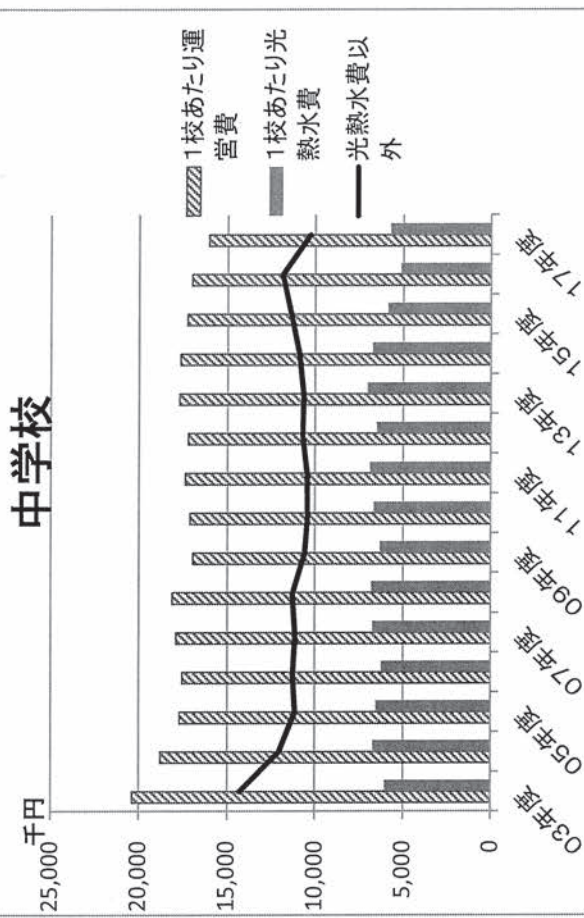
各年教育委員会資料より作成

市立学校経常運営費の状況について

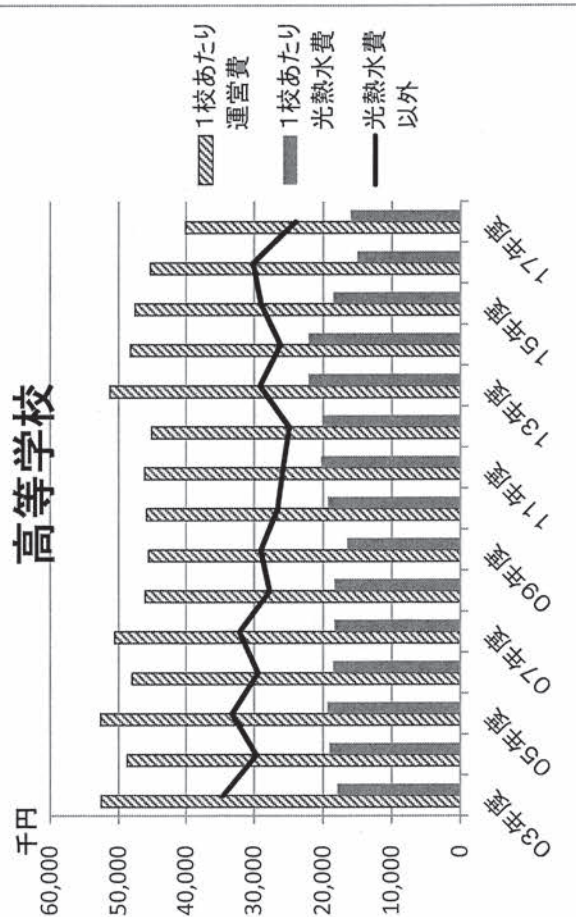
小学校



中学校



高等学校

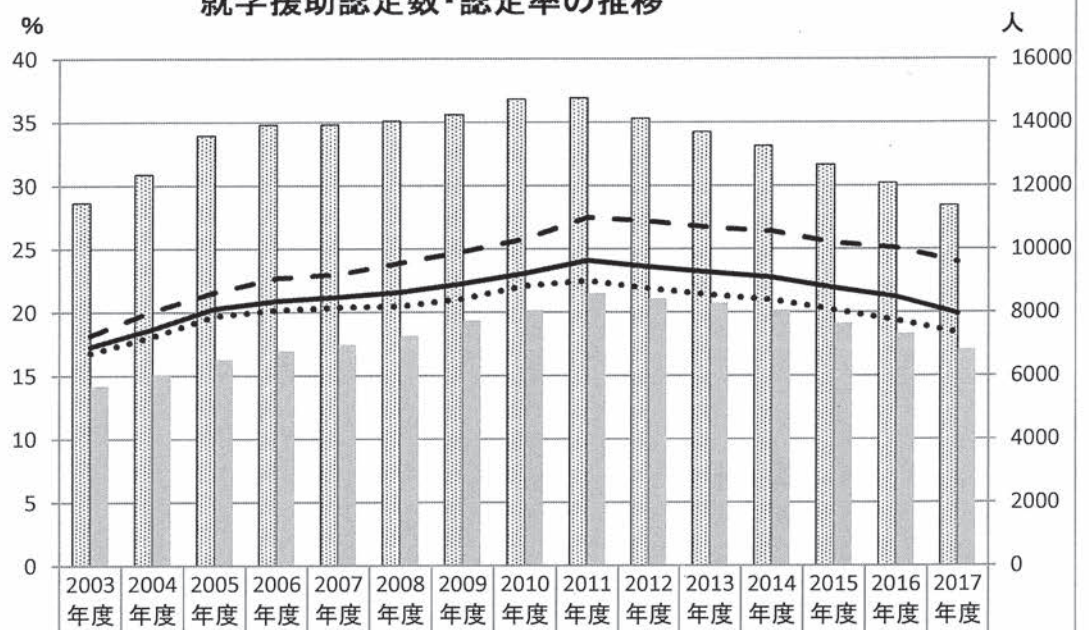


平成16年度の学校経常運営費の取扱の変更について

「『合算執行事業』の拡大により学校裁量権を拡大」として光熱水費などを学校経常運営費の中に含めたうえで、運営費の2割カットを行なった。教育委員会は「各学校が予算の内示額の範囲内で状況に応じて予算編成できるようになり、裁量権を拡大した」としているが、現場では、教材費の縮減など影響が出ている。猛暑続きの中、配分された運営費では教育活動に影響を来すため、光熱水費の追加配分が続いており、『合算執行』による効率的運営は破綻しているといえる。

教育委員会資料より作成

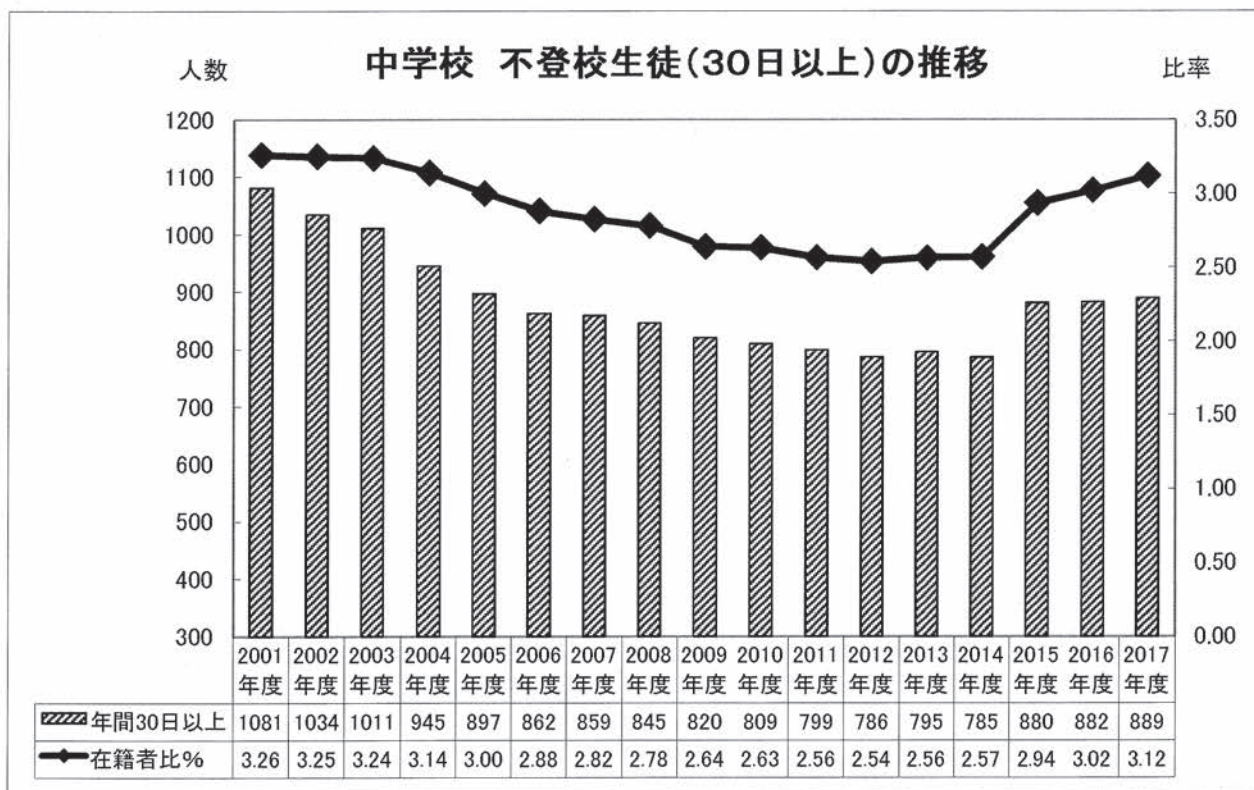
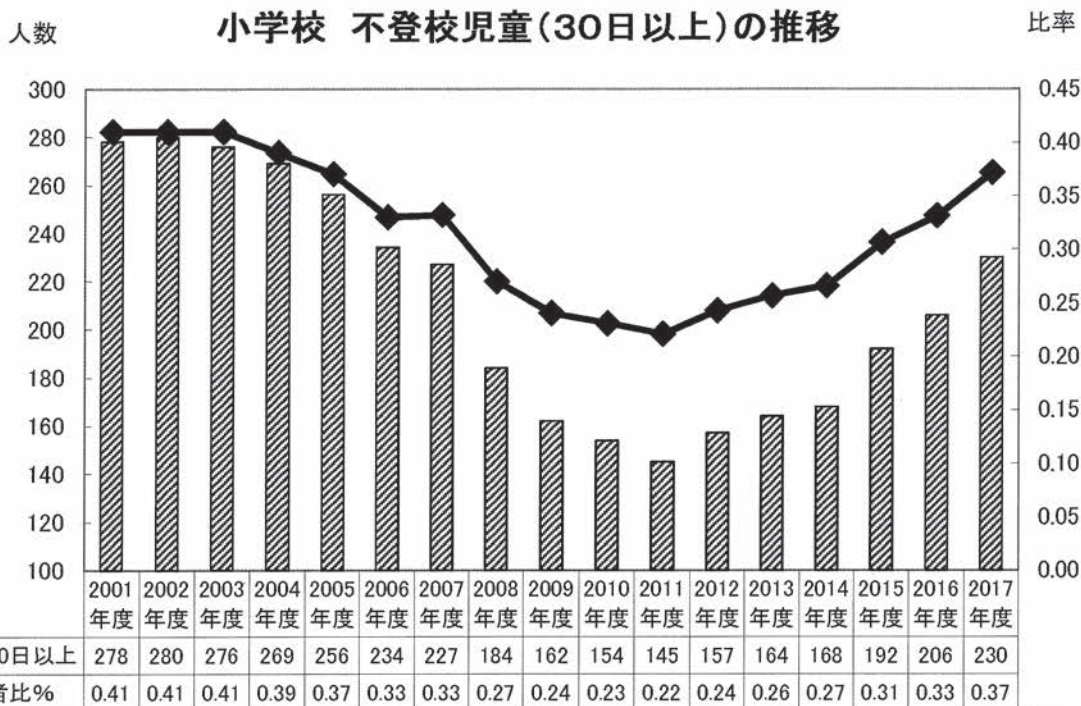
就学援助認定数・認定率の推移



	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
小学校認定数(人)	11458	12348	13572	13925	13927	14033	14237	14727	14766	14118	13698	13249	12657	12084	11371
中学校認定数(人)	5677	6037	6499	6781	6981	7260	7725	8073	8596	8430	8289	8069	7650	7324	6827
小学校認定率(%)	16.8	18.1	19.7	20.2	20.4	20.5	21.1	22.1	22.5	21.9	21.4	21	20.2	19.4	18.4
中学校認定率(%)	18.2	20.1	21.6	22.7	23	23.9	24.8	25.8	27.5	27.2	26.7	26.4	25.5	25.1	24
認定率合計(%)	17.3	18.7	20.3	20.9	21.2	21.6	22.3	23.1	24.1	23.6	23.2	22.7	21.9	21.2	19.9

各年教育委員会資料より作成

不登校児童・生徒の推移 教育委員会資料より作成



教育委員会資料より作成 児童生徒数は教育調査統計による

保健室等別室登校の児童・生徒数について（行政区ごと，平成 29 年度）

	小学校	中学校	合 計
北 区	7	25	32
上京区	6	8	14
中京区	3	21	24
下京区	1	7	8
南 区	7	12	19
左京区	15	23	38
東山区	3	10	13
山科区	12	21	33
右京区	15	25	40
西京区	15	25	40
伏見区	20	78	98
合 計	104	255	359

※ 「保健室等別室登校」の児童・生徒数は，不登校または不登校傾向にある児童・生徒数のうち，登校した場合，主に保健室等別室で指導することが常態である児童・生徒数。